

第4学年 総合的な学習の時間学習指導案

平成28年6月27日(月) 5校時

場所 発見の森図書館

指導者 T1

T2

1. 単元名 仁摩のよさを伝えよう

2. 単元のねらい

- ・本因坊道策について調べたい情報を適切な方法で収集することができる。(学習方法)
- ・学習したことを新聞にまとめ、伝えたいことを表現することができる。(学習方法)
- ・仁摩への愛着を深め、大切にしていこうという思いをもつことができる。(自分自身)
- ・友だちと協力して活動したり、家族や地域の方に積極的に話を聴いたり尋ねたりすることができる。

(他者や社会とのかかわり)

3. 単元について

(1) 教材について

学習指導要領には、第1 目標「横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。」とある。本校では、第4学年の児童に総合的な学習の時間を通して育てたい力として4つの力を挙げている。「身近な体験や発見をもとに課題を見つけ、学習計画を立てる」力、「目的にあった方法で調べたり、分かりやすくまとめたりする」力、「地域に愛着を持ち、学んだことを生かしながら自分の生活を考える」力、「友だちと協力して活動したり、地域の方と積極的に関わったりする」力である。本単元は、この力を育成することをもとに設定した。

本単元は自分たちの町の良さに目を向ける中で、仁摩町の偉人である碁聖「本因坊道策」について詳しく調べ、地域の方々に道策のことを発信していく。本因坊道策は日本中で2人しかいないと言われている碁聖の1人である。史上最強とも言われた人物であり、囲碁の世界ではとても有名な人物である。しかし、仁摩町では本因坊道策のことはあまり知られておらず、児童も全く知らない状態である。本因坊道策について調べることで児童は本因坊道策を仁摩町の誇りとして感じることができ、地域への愛着を深めるのに有効な教材であると考えられる。また、地域の方にインタビューをしたり見学の際の説明をしていただいたりし、地域の方と関わりながら学習を進めていく。情報のまとめをグループで行う際には、友だちと意見を出し合いながら協力して活動を行う。また、単元のまとめとして、道策新聞をまちづくりセンターに掲示し、得た情報を地域へ発信していく。単元全体を通して地域の方や友だちとの関わりを多くもつことができ、目標としている力を育むことにも適した教材である。

本単元は、まず、児童自身が仁摩の自慢について考えていく。これまで育ってきた仁摩町を振り返り、今の自分たちの仁摩町に対する思いに気付くことができるようにしたい。その上で、碁聖「本因坊道策」について知らせ、自分たちの知らない仁摩の良さがあることを感じるようにしたい。また、その際社会科の「地域の偉人」との関連にも触れていきたい。

道策への興味を高め、知りたいという思いをもった上で、ゲストティーチャーを招き、道策について詳しく話を聞いたり質問をしたりして情報を収集していく。続けて道策の生家訪問を行い、実物を見たり地域の方から道策についての話を聞いたりすることを通して、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育てるようにしたい。またその際、記録の取り方やコミュニケーションの仕方なども考え、学び方やものの考

え方も身に付けることができるようにしていきたい。

インタビューや図書資料から収集した情報をもとに、グループで道策について伝えたい内容を整理・分析し、新聞にまとめていく。これらの探究的な活動を通して、児童は事象を捉える感性や問題意識が揺さぶられ、学習活動への取組が真剣になってくると考えられる。

最後に、グループごとに作った新聞を仁摩町の4地区のまちづくりセンターに掲示し、地域の方々に向けて道策について発信していく。仁摩町の偉人をもっともっと地域に広めると共に、児童自身が仁摩町に誇りをもち愛着を深めることができる考える。また、地域の方から新聞に対する感想をもらうことで、地域の方との交流も図ることができるようにしていきたい。

(2) 児童について

省略

(3) 指導について

本単元では、仁摩町の偉人である本因坊道策について調べ、まとめる活動を通して仁摩の良さに気付き、仁摩への愛着を深めていくようにしたい。

第一次では仁摩に対する見方に気付くためにウェービングマップを行う。この活動によって、今の自分がどれだけ仁摩の自慢に気付くことができるかを感じることができるだろう。その中で児童から「囲碁」というキーワードが出てくることは難しいと予想される。そこで、どれだけ仁摩町が囲碁を大切にし、受け継いできてのが多く、児童にとっては内容を理解することが難しいものが多い。そこで、学校司書と連携し、難しい図書資料を簡単な内容にし、児童自身の力で情報をまとめることができるようにしておく。調べた内容は情報カードにまとめていく。インタビューの内容も情報カードにまとめておき、新聞の内容を決める際に利用できるようにしておく。また、図書資料から知りたい情報が得られない場合は、再度ゲストティーチャーを招くなどし、インタビューによって情報収集をしていくようにする。

本単元では、道策について得た情報を新聞の形にまとめていく。新聞にまとめると次の5点で有効であると考え。①書き手の思いを明確にする、②読み手を意識して伝える、③情報を精選する、④仲間と協力、交流する、⑤情報の発信、読み手の反応から学習を振り返る、である。作成した新聞は、仁万、宅野、馬路、大国の4地区のまちづくりセンターに掲示し、地域の方に向けて発信する予定である。その上でも新聞は情報を伝えやすく、有効であると考え。また、本単元の新聞はグループで作成する。本因坊道策についてのどの情報を地域の人に伝えるか等を友だちと話し合いながら作成していく中で、より地域の方への思いや仁摩への愛着を深めたりすることができる考える。また、本学級には、1人で多くの情報を収集・整理したり、新聞の本文を書いたりすることが難しい児童が数名いる。1人で集めた情報をもとに友だちと協力しながら新聞を作成することで記事を書き上げることができ、学習への充実感や達成感を味わうことができると考える。そのため、グループを構成する際には、情報収集力、情報を整理する力、書く力などが均等になるようにしていきたい。

本時では、グループで新聞にのせる記事の内容を精選する。相手意識をもち、道策に関する情報の中で伝えたいという思いのものを選ぶようにしたい。精選の仕方として、情報カードを利用する。前時まで個人で書いた情報カードを内容ごとに分け、その中からグループとして伝えたい内容のものを選んでいくようにする。記事の内容を精選した後、割付を考える活動を行う。学校司書が実際の新聞を使って新聞の構成について説明することで、1番伝えたい内容が上の方に位置するレイアウトになっていること等を理解できると思われる。その後、自分たちのグループの中で地域の方に伝えたいことを考えながら割付を決めていく。児童の思いを確認しながら記事の順番を決めていくようにしたい。その後、これまでに学習してきている新聞の書き方を活用しながら、見出しを考えたり本文を書いたり字のサイズや太さなどを工夫したりしていく。その際、この情報収集に対して感じたことや学んだことなども新聞の中に記載することで、学習を振り返ることができるだろう。

第三次では、各グループの発表を行う。友だちの発表を聞くことによって道策についてより深く知ることができるだろう。その後、各地区のまちづくりセンターへ新聞を持って行き、掲示をする。その新聞を読んで感じたことを地域の方に書いていただき、交流を図りたい。その交流を通して地域の方へ発信することの良さを感じると共に、道策に対する誇りを深め、仁摩町の良さを感じるだろう。

第四次では、これまでの生活や学習の中から仁摩のおすすめの場所を考え、「仁摩のおすすめマップ」を作成する。このマップは校内での掲示などを通して全校に発信していく。作成・発信を通して身近にある仁摩の良さを改めて振り返ることができるだろう。

4. 単元の評価規準

学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者や社会とのかかわり
① 本因坊道策について調べたい課題を明らかにすることができる。 ② 課題解決に向け必要な情報を収集し、整理・分析しながら新聞にまとめることができる。	① 仁摩への愛着を深め、大切にするために自分にできることを明らかにすることができる。	① 友だちの意見を取り入れながら、協力して活動することができる。 ② 家族や地域の方等に積極的に話を聴いたり尋ねたりすることができる。

5. 単元計画と評価計画（全 30 時間）

	学習活動	時数	教師の指導・支援	評価				他教科等との関連
				学習方法	自分自身	かかわり	方法	
第一次	<p>○本因坊道策に触れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁摩の自慢は何かを考える。 ・本因坊道策について知る。 ・道策について知っていることを家の人にインタビューする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">図書資料以外の利用</div> <p>・道策について知りたいことを考え、今後の学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">課題設定</div>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェービングマップを活用してイメージを広げることができるようにする。 ・発信のねらい、対象や方法等の見通しをもち、学習に意欲的に取り組むことができるようにする。 	①		②	<ul style="list-style-type: none"> ウェービングマップ インタビューカード 行動観察 インタビューカード 	社会 国語
第二次	<p>○課題解決に向け、必要な情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーを招き、道策についての話を聞いたり質問をしたりする。 ・道策の生家を訪問する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">図書資料以外の利用</div> <p>・インタビューから得た情報を情報カードにまとめる。</p> <p>・もっと深く知りたい情報を図書資料やインタビューを通して収集し、情報カードにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">図書資料の利用・情報の収集</div>	8	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に考えた質問事項をもとに話を聞き、内容を捉えることができるようにする。 ・情報カードの書き方を繰り返し指導し、今後の学習で活用できるようにする。 ・必要に応じて地域の方を招き、インタビューから情報を得ることができるようにする。 	②		②	<ul style="list-style-type: none"> メモ メモ 情報カード 情報カード 	

	<p>○調べたことがらを整理して新聞にまとめる。</p> <p>・情報カードをもとにグループで地域の方に伝えたい情報を選択する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">情報の整理・分析</div> <p>・新聞の作り方について学習する。</p> <p>・調べた情報や感想・意見などを取り入れながら新聞にまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">情報のまとめ方</div>	8 (本時)	<p>・情報整理の方法を示し、伝えたい内容を選択しやすくする。</p> <p>・実際の新聞を提示し、作り方を理解できるようにする。</p> <p>・発信のねらいや自分の思いを振り返りながらまとめていくようにする。</p>	②	②	①	<p>情報カード</p> <p>行動観察</p> <p>新聞</p>	国語
第三次	<p>○発表会に向けて練習をする。</p> <p>○発表会を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">情報の発表</div> <p>○地域のまちづくりセンターに新聞を持って行き、交流を図る。</p>	2	<p>・相手を意識し、指差し等を取り入れながら分かりやすく発表することができるようにする。</p> <p>・グループごとに発表をし、感想を伝え合うことで仁摩への思いを深めるようにする。</p> <p>・新聞に込めた思いを伝え、地域の方からも感想をもらうことで交流を図ることができるようにする。</p>			①	<p>行動観察</p> <p>行動観察</p> <p>行動観察</p>	
第四次	<p>○仁摩のおすすめの場所について考え、情報を収集する。</p> <p>○「仁摩のおすすめマップ」を作る。</p> <p>○校内に掲示し、全校に発信する。</p>	9	<p>・これまでの学習や生活を振り返りながらおすすめを決めていくようにする。</p> <p>・相手や目的を意識しながら作成するようにする。</p> <p>・放送や掲示などを通して全校に発信することで、仁摩の良さを自分自身が振り返ることができるようにする。</p>	①	①	①	<p>情報カード</p> <p>おすすめマップ</p> <p>行動観察</p>	

○単元のまとめをする。	・今後の自分の生活を考えることで、仁摩を大切にすることを育てるようにする。	①	振り返りカード
-------------	---------------------------------------	---	---------

6. 本時の活動

(1) 本時のねらい(18時/30時)

- ・ 情報カードをもとに、収集した情報を整理することができる。
(学習方法に関すること～整理・分析～)
- ・ グループの友だちと意見を出し合いながら、伝える相手を意識し、新聞記事に載せる内容を考えることができる。
(他者や社会とのかかわりに関すること)

(2) 本時の展開

学習活動	教師の支援と留意点		評価(評価方法)
	T1	T2	
1. 本時のめあてを確認する。	・前時までの授業を振り返りながら、児童の言葉でめあてを作るようにする。		
新聞記事にのせる内容を決めよう			
2. 情報の整理をする。 ・ グループで、情報カードを使って内容ごとに仲間わけをする。	・情報を比べたり関連させたりしながら仲間わけをするよう声かけをする。	・支援が必要なグループのそばで一緒に活動する。	・情報カードをもとに、収集した情報を整理することができる。 (行動観察)
3. 新聞の構成について知る。	・各グループのそばで一緒に確認する。	・実際に新聞の一面を紹介し、割付等が理解できるようにする。	
4. 記事の内容を決め、割付を考える。	・地域の人に伝えたいという思いのもと決定するよう声をかける。 ・各グループのそばで思いを聞きながら一緒に内容を決めたり割付を考えたりする。	・各グループのそばで思いを聞きながら一緒に内容を決めたり割付を考えたりする。	・グループの友だちと意見を出し合いながら、新聞記事に載せる内容を考えることができる。 (行動観察、ワークシート)
5. 振り返りを行う。			

(3) 予想される児童の具体的な姿

	十分満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	支援を必要とする児童への指導の手立て
情報カードをもとに、収集した情報を整理することができる。	情報カードをもとに、収集した情報を比較したり関連付けたりしながら整理することができる。	情報カードをもとに、収集した情報を同じ仲間整理することができる。	収集した情報を整理することができない。 →情報カードの内容を一緒に確認し、一枚一枚整理していく。
グループの友だちと意見を出し合いながら、伝える相手を意識し、新聞記事に載せる内容を考えることができる。	グループの友だちと意見を出し合いながら、伝える相手を意識し、記事の内容を考えることができる。	グループの友だちと意見を出し合いながら、記事の内容を考えることができる。	記事の内容を考えることができない。 →どの内容を地域の方に伝えたいのかを一緒に確認しながら考えるようにする。

(4) 研究の視点

情報カードを使ったことは、新聞の構成を考える上で有効な手立てであったか。